

令和5年度 奈良県・大和高田市・県立大附属高公立学校教員採用候補者選考試験

2次試験個人面接（模擬授業）実施案内

1 実施方法

- (1) 出願した「校種・教科等」において、次の表中に示す学習指導要領の内容により、模擬授業を行ってください。
- (2) 高等学校・地理歴史に出願した受験者は、1次試験筆記試験時に選択した領域で行ってください。

2 模擬授業について

- (1) 模擬授業は、個人面接の最初の10分間で行います。
- (2) 模擬授業は、必ずしも導入の部分を行う必要はありません。途中の展開の部分やまとめの部分の授業を行っても構いません。10分経つと終了の指示をしますので、指示するまで続けてください。
- (3) 面接官を児童生徒として、授業を行うことはできません。
- (4) 面接をする教室には、黒板、チョーク（白・赤・黄）を備えています。
- (5) 音楽の面接をする教室にはピアノがあり、使用可とします。また、保健体育の面接は、体育館で行い、ホワイトボード、マーカー（黒・赤・青）を使用可とします。
- (6) 模擬授業に持ち込み可能なものは、模擬授業に関するメモ（注1）1枚のみです。教具や掲示物等の持ち込みは不可とします。
- (7) 模擬授業終了後の面接では、模擬授業についての質問も行います。
- (8) 中学校数学・技術及び高等学校数学の個人面接（模擬授業）について

【模擬授業の内容】

各自が持参するICT関連機器を用いた模擬授業10分を行います。機器や接続の不具合、再生不良等により予定した画像や映像が適切に映写できない場合のために、各自が提示予定の画像等を印刷したもの（カラー印刷可）を持参してください。機器の不具合、再生不良等の場合は、持参印刷物を用いて予定していた模擬授業を行います。

【面接試験教室への設置機器】

・映写用機器・・・プロジェクター〔音声出力可能、入力端子はHDMIもしくはVGA（DE-15コネクタ、ミニD-Sub15ピン）〕を設置します。

・スクリーン・・・黒板左端に移動式ホワイトボード（マーカーによる書き込み可）を設置します。

※各自が使用する機器からプロジェクターに接続するための端子は、原則準備してください。Wi-Fi等の通信機能を使用した無線での機器の接続は、禁止します。なお、次の①～⑥の端子を会場に設置するので、使用しても構いません。

① HDMI端子 ② HDMI mini 端子 ③ HDMI micro 端子 ④ Lightning 端子（iPhone・iPad用）

⑤ USB Type-C 端子 ⑥ VGA端子（DE-15コネクタ、ミニD-Sub15ピン）

- (9) 義務教育学校特別選考（小学校・中学校）の個人面接（模擬授業）について

小学校・・・小学校課題による模擬授業と、中学校所有免許教科の模擬授業を両方行います。

中学校・・・受験校種科目の模擬授業と、小学校課題のうち受験科目についての模擬授業を両方行います。

（注1）模擬授業に関するメモ

- ・ 用紙は、A4サイズに限ります。
- ・ 内容は、指導案や板書計画、教材等のコピー等、自由とします。
- ・ 提出は不要です。模擬授業の評価の対象にはしません。

(注) 表中で示しているページ数は、**文部科学省より発行されている学習指導要領**（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）のページ数を表しています。文部科学省のホームページ上のページ数ではありませんので注意してください。

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
小学校・国語	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 国語 第2 各学年の目標及び内容 第5学年及び第6学年 (P.36)】</p> <p>2 内 容 [思考力, 判断力, 表現力等]</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 話の内容が明確になるように, 事実と感想, 意見とを区別するなど, 話の構成を考えること。</p>
小学校・社会	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 社会 第2 各学年の目標及び内容 第5学年 (P.55)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について, 学習の問題を追究・解決する活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 災害の種類や発生の位置や時期, 防災対策などに着目して, 国土の自然災害の状況を捉え, 自然条件との関連を考え, 表現すること。</p>
小学校・算数	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 算数 第2 各学年の目標及び内容 第5学年 (P.83・84)】</p> <p>2 内 容</p> <p>B 図形</p> <p>(3) 平面図形の面積に関わる数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(7) 図形を構成する要素などに着目して, 基本図形の面積の求め方を見いだすとともに, その表現を振り返り, 簡潔かつ的確な表現に高め, 公式として導くこと。</p>
小学校・理科	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 理科 第2 各学年の目標及び内容 第4学年 (P.99)】</p> <p>2 内 容</p> <p>B 生命・地球</p> <p>(3) 雨水の行方と地面の様子</p> <p>雨水の行方と地面の様子について, 流れ方やしみ込み方に着目して, それらと地面の傾きや土の粒の大きさとを関係付けて調べる活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 雨水の行方と地面の様子について追究する中で, 既習の内容や生活経験を基に, 雨水の流れ方やしみ込み方と地面の傾きや土の粒の大きさととの関係について, 根拠のある予想や仮説を発想し, 表現すること。</p>
小学校・外国語 (英語)	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語(P.157)】</p> <p>2 内 容 [第5学年及び第6学年]</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>オ 書くこと</p> <p>(7) 文字の読み方が発音されるのを聞いて, 活字体の大文字, 小文字を書く活動。</p> <p>※なお, 英語での挨拶は実施したものとし, 上記の言語活動を扱う模擬授業を行うこと。</p>
小学校・英語教育推 進特別選考	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語(P.157)】</p> <p>2 内 容 [第5学年及び第6学年]</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>オ 書くこと</p> <p>(7) 文字の読み方が発音されるのを聞いて, 活字体の大文字, 小文字を書く活動。</p> <p>※なお, 英語での挨拶は実施したものとし, 上記の言語活動を扱う模擬授業を行うこと。</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
中学校・国語	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 国語 第2 各学年の目標及び内容 第2学年 (P.34)】</p> <p>2 内 容 [思考力, 判断力, 表現力等]</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように, 段落相互の関係などを明確にし, 文章の構成や展開を工夫すること。</p>
中学校・社会	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 社会 第2 各分野の目標及び内容 地理的分野 (P.44)】</p> <p>2 内 容</p> <p>C 日本の様々な地域</p> <p>(2) 日本の地域的特色と地域区分</p> <p>次の①から④までの項目を取り上げ, 分布や地域などに着目して, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 以下のア及びイの事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>① 自然環境 ② 人口 ③ 資源・エネルギーと産業 ④ 交通・通信</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) ①から④までの項目について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差違, 分布などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現すること。</p>
中学校・数学	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 数学 第2 各学年の目標及び内容 第2学年(P.71)】</p> <p>2 内 容</p> <p>C 関 数</p> <p>(1) 一次関数について, 数学的活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること。</p>
中学校・理科	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 理科 第2 各分野の目標及び内容 [第1分野] (P.83・84)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(6) 化学変化とイオン</p> <p>化学変化についての観察, 実験などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 化学変化について, 見通しをもって観察, 実験などを行い, イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し, 化学変化における規則性や関係性を見いだして表現すること。また, 探究の過程を振り返ること。</p>
中学校・音楽	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第1学年 (P.99・100)】</p> <p>2 内 容</p> <p>A 表 現</p> <p>(1) 歌唱の活動を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
中学校・美術	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 美術 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 (P.110・111)】</p> <p>2 内 容</p> <p>A 表 現</p> <p>(2) 表現の活動を通して、次のとおり技能に関する資質・能力を育成する。</p> <p>ア 発想や構想をしたことなどを基に、表現する活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(イ) 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。</p> <p>[共通事項]</p> <p>(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。</p> <p>イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p>
中学校・保健体育	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 保健体育 第2 各学年の目標及び内容 (体育分野 第3学年) (P.120)】</p> <p>2 内 容</p> <p>A 体づくり運動</p> <p>体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>・本時は、「体づくり運動」単元である。</p> <p>・集合・挨拶の後、体づくり運動を指導する。</p> <p>・体ほぐしの運動を指導した後、実生活に生かす運動を指導する。</p> <p>・運動例は合わせて2～3種類とする。</p> <p>・なお、準備運動は実施したものとする。</p>
中学校・技術	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容〔技術分野〕(P.132・133)】</p> <p>2 内 容</p> <p>B 生物育成の技術</p> <p>(2) 生活や社会における問題を、生物育成の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は育成の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。</p>
中学校・家庭	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容〔家庭分野〕(P.137)】</p> <p>2 内 容</p> <p>A 家族・家庭生活</p> <p>(1) 自分の成長と家族・家庭生活</p> <p>ア 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くこと。</p>
中学校・外国語 (英語)	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語(P.149)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>エ 話すこと [やり取り]</p> <p>(イ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。</p> <p>※なお、英語での挨拶は実施したものとし、上記の言語活動を扱う模擬授業を行うこと。</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
高等学校・国語	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 国語 第2 言語文化(P.36)】</p> <p>2 内 容 〔思考力, 判断力, 表現力等〕</p> <p>A 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう, 文章の種類, 構成, 展開や, 文体, 描写, 語句などの表現の仕方を工夫すること。</p>
高等学校・地理歴史	<p>【高等学校学習指導要領(平成21年告示) 地理歴史 第2 世界史B(P.37)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(5) 地球世界の到来 科学技術の発達や生産力の著しい発展を背景に, 世界は地球規模で一体化し, 二度の世界大戦や冷戦を経て相互依存を一層強めたことを理解させる。また, 今日人類が直面する課題を歴史的観点から考察させ, 21世紀の世界について展望させる。</p> <p>ウ ミソ冷戦と第三世界 ミソ両陣営による冷戦の展開, 戦後の復興と経済発展, アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題, 平和共存の模索などを理解させ, 第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向について考察させる。</p>
	<p>【高等学校学習指導要領(平成21年告示) 地理歴史 第4 日本史B(P.41)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(6) 現代の日本と世界 現代の社会や国民生活の特色について, 国際環境と関連付けて考察させ, 世界の中での日本の立場について認識させる。</p> <p>イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興, 高度経済成長と科学技術の発達, 経済の国際化, 生活意識や価値観の変化などに着目して, 日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>
	<p>高等学校学習指導要領(平成21年告示) 地理歴史 第5 地理A(P.42・43)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について, 地域性や歴史的背景を踏まえて考察し, 現代世界の地理的認識を深めるとともに, 地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>イ 世界の生活・文化の多様性 世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ, その多様性について理解させるとともに, 異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p>
高等学校・数学	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 数学 第1 数学I(P.92)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(3) 二次関数 二次関数について, 数学的活動を通して, その有用性を認識するとともに, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 二次関数の式とグラフとの関係について, コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
高等学校・理科 (物理)	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 理科 第3 物理(P.108・109)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 様々な運動 物体の運動についての観察, 実験などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 様々な物体の運動について, 観察, 実験などを通して探究し, 平面内の運動と剛体のつり合い, 運動量, 円運動と単振動, 万有引力, 気体分子の運動における規則性や関係性を見いだして表現すること。</p>
高等学校・理科 (化学)	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 理科 第5 化学(P.114・115)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 物質の状態と平衡 物質の状態と平衡についての観察, 実験などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 物質の状態と平衡について, 観察, 実験などを通して探究し, 物質の状態とその変化, 溶液と平衡における規則性や関係性を見いだして表現すること。</p>
高等学校・理科 (生物)	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 理科 第7 生物(P.121)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(2) 生命現象と物質 生命現象と物質についての観察, 実験などを通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 生命現象と物質について, 観察, 実験などを通して探究し, 生命現象と物質についての特徴を見いだして表現すること。</p>
高等学校・音楽	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 芸術 第1 音楽I (P.141)】</p> <p>2 内 容</p> <p>A 表 現</p> <p>(1) 歌唱 歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な, 次の(イ)から(ロ)までの技能を身に付けること。 (イ) 他者との調和を意識して歌う技能</p>
高等学校・美術	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 芸術 第4 美術I (P.147・148)】</p> <p>2 内 容</p> <p>A 表 現</p> <p>(1) 絵画・彫刻 絵画・彫刻に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想 (イ) 自然や自己, 生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと, 夢や想像などから主題を生成すること。 イ 発想や構想したことを基に, 創造的に表す技能 (イ) 表現方法を創意工夫し, 主題を追求して創造的に表すこと。</p> <p>[共通事項] 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して, 次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形の要素の働きを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に, 全体のイメージや作風, 様式などで捉えることを理解すること。</p> <p>※絵画・彫刻のうち、彫刻についての模擬授業を行うこと。</p>
高等学校・書道	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 芸術 第10 書道I (P.158)】</p> <p>2 内 容</p> <p>B 鑑 賞</p> <p>(1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら, 次の(イ)及び(ロ)について考え, 書のよさや美しさを味わって捉えること。 (イ) 作品の価値とその根拠 (ロ) 生活や社会における書の効用</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
高等学校・保健体育	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 保健体育 第1 体育(P.131)】</p> <p>2 内容</p> <p>A 体づくり運動</p> <p>体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てること。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>・本時は、「体づくり運動」単元である。</p> <p>・集合・挨拶の後、体づくり運動を指導する。</p> <p>・体ほぐしの運動を指導した後、実生活に生かす運動を指導する。</p> <p>・運動例は合わせて2～3種類とする。</p> <p>・なお、準備運動は実施したものとする。</p>
高等学校・外国語 (英語)	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 外国語 第1 英語コミュニケーションI (P.166)】</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>オ 話すこと [発表]</p> <p>(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>※なお、英語での挨拶は実施したものとし、上記の言語活動を扱う模擬授業を行うこと。</p>
高等学校・家庭	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 家庭 第1 家庭基礎(P.182)】</p> <p>2 内容</p> <p>A 人の一生と家族・家庭及び福祉</p> <p>(2) 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>イ 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意志決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察すること。</p>
高等学校・農業	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 農業 第6 野菜(P.204)】</p> <p>2 内容</p> <p>(3) 野菜の特性と栽培技術</p> <p>ア 野菜の種類と特徴</p>
高等学校・工業 (建築)	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 工業 第29 建築構造 (P.270・271)】</p> <p>2 内容</p> <p>(2) 建築材料</p>
高等学校・工業 (機械)	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 工業 第10 機械工作 (P.249)】</p> <p>2 内容</p> <p>(2) 機械材料</p> <p>ア 機械材料の加工性と活用</p>
高等学校・商業	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 商業 第1 ビジネス基礎(P.309)】</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 商業の学習とビジネス</p> <p>ア 商業を学ぶ重要性和と学び方</p>
高等学校・福祉	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 福祉 第2 介護福祉基礎(P.423)】</p> <p>2 内容</p> <p>(2) 介護福祉の担い手</p> <p>ウ 介護従事者の倫理</p>

校種・教科 (科目)等	模擬授業で扱う学習指導要領の内容
高等学校・情報	<p>【高等学校学習指導要領(平成30年告示) 情報 第1 情報I (P.190)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(2) コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。</p>
特別支援学校	<p>【特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(平成29年告示) 中学部 第1 各教科の目標及び内容〔理科〕(P.153・154)】</p> <p>2 各段階の目標及び内容</p> <p>○1 段階</p> <p>(2) 内 容</p> <p>A 生命</p> <p>ア 身の回りの生物</p> <p>身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、生物の姿に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>㊦ 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。</p>
養護教諭	<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 体育 第2 各学年の目標及び内容 第3学年及び第4学年 (P.145)】</p> <p>2 内 容</p> <p>G 保健</p> <p>(2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 体の発育・発達について理解すること。</p> <p>(ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。</p>
栄養教諭	<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 保健体育 第2 各学年の目標及び内容〔保健分野〕(P.127)】</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。</p> <p>(ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。</p> <p>※上記内容に「学校給食」を関連付けて、模擬授業を行うこと。</p>